

KOKONOE
FreePaper

2022.9
vol.16

BASARE

九重からここのえへ

ネイティブKoKoNoE

ここのえレコード

牛飼い道

九重の自然を守る会のこと



方言つかっち
はなせ〜ばい!

ネイティブ K.O.K.O.N.O.E 会話編

じえんたい、
おしえぬに
なります。



方言マイスター
きよっさん

方言とは、共通語・標準語とは異なった形で、一地方だけで使われる特有の言葉。

絶妙なニュアンスで伝えることのできる方言は、そこに住む人たちだからこそわかる『合言葉』のようなもの。九重の合言葉(方言)を使った会話は、クスツと笑えてあたたかい。

今回は、九重のあちこちから聞こえてくる何気ない日常会話を集めてみました。

若い世代の方たちも、ぜひ!使ってみてください。

会話その1 数名で重い荷物を持つ時の会話

「こーの」とは、
複数名で力を合わせる時、
気合を入れるために
使う言葉ばい。



こーのっ!!

いいばい

腰をきやつちせんごつ

いいばい

おーかた二人でよかろうばい!
いくばい

い〜ぐれ〜んこつちやね〜

こん荷物がし〜んけん
おみ〜き、持つちかつせちよくれ

会話その3 晴れの日の会話

今日からばされ
ぬきなるっち
言よつたけん
気をつけなよ

今日は良い
日和じゃたな〜

「ばされ」とは、
沓くまん、という意味が
あるばい。



※冊子のBASAREはこの方言を使つちよるばい。

会話その2 野菜をおすそ分けする時 の会話

せしこでいいばい

こしこしかねーばい

あるしこでいいばい

どしこいるへ?

会話その4

探していた塗り薬が、
結局は自分のすぐ近くにあった時の会話



お医者からもらった塗り薬はどきない？



自分しそき置きよったじゃねーへ



なんぼ探してんねえ〜んじゃ



しょうじょうつ探したへ？



どこそこ置いちやらんはずやけど…



はがい〜！
あんたんねけ
あるじゃねーへ！



あつたあつた！
こきあつたわ（笑）



じゃき、そきあるち
言うたやねーへ！

「あんたんねけ」とは、
あなたの方のすぐそば、
つちゅう意味ばい。



会話その5

夕方4時頃、隣の家に寄った時の会話



おごめ〜ん、おごつそが出来よるへ〜



おごつそはしやら〜ん！どしたへ〜



ちこうまで来たき、
もの言うて帰ろうち思つて



茶どん寄つちえ飲みなはい！



ほんならよばれようかたな



はい、す茶と漬けもんをどろぞ



お〜きにやんた、
今日は外があち〜き、
ちつと冷ましちえ
いただこうかたな

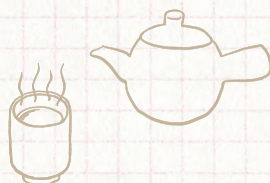
10分後〜



あんた、早よ飲まなお茶が
へめりなりよるばい

「へめり〜」とは、

熱い飲み物が、冷めて生ぬるくなつた
状態のことを言うばい！
それと、緩慢な行動に
対しても使用ばい。



会話その6
こけてしまった
時の会話



昨日、
買いもんに行っち、
足元見らんなり行きよったら
段差に引つかかっち、
店前で**ばちこけち**、
てがて、ち言うちから
ありません！

んまゝ、あんた！
そりゃふがわりかったな！
気をつけなて！

「**ばちこける**」とは、
勢いよくこけることばい。
「**てがて**」とは、
耐え難い、恥ずかしい
っちゅう意味ばい。

会話その7
飴を飲み込んで
しまった時の会話

飴玉を**ひん飲んじ**
しもうた！

どげもねへ？

こんめかつたき
なんちゃねーけど、
喉んあたりが
きしょくわり〜わ〜

おだっちえ
飴なめながら
っじまわるきて

「**ひん飲む**」とは、
勢いよく飲み込んで
しまった時に使うばい。
「**おだつ**」とは、
調子に乗る、ふざける
っちゅう意味ばい。



会話その8
大げさに聞こえてしまった
時の会話

いてて
ててててて！

どしたんね

物置きん入り口に腕を
うつつけしもうた、
いててててて！！
腕が折れたかんしれん

ぎゅーらしー

「**ぎゅーらしー**」とは、
騒がしい、騒がしい、
大げまっちゅう
意味があるばい。



CHECK!



わからない方言は
こちらをチェック！
YouTubeでご紹介しています。

いちばん駅の数が多かった時

7駅

野矢駅・豊後中村駅・引治駅・恵良駅
*久大本線
町田駅・宝泉寺・麻生釣
*旧宮原線



いちばん暑かった日と寒かった日

2010年8月19日



2012年2月3日



38.3℃ -14.7℃

いちばん雪が降った日

昭和38年1月30日
飯田地区

一晩で約50cm
積もった日が
2回ありました



110cm

いちばん高い ところにある石橋

宝山にある
妙見宮の車橋



標高 721m



いちばん高い山

星生山
標高

1,762m

投稿いただいた
我こそはナンバー1

手打ちそば風来坊さん横
幹周りがなんと

4m35cmもある
立派なクヌギを発見!



インスタ映え
決定!

写真を
撮る方も
いますよ!



ど根性
のある木

水路を流れてきた
タネから芽が出て
成長しています!



いちばん乗降が 多かった時の人数

昭和40年頃

・恵良駅 21万人



・引治駅 7万1千人 ・豊後中村駅 37万人

いちばん生徒数が多かった年と人数

昭和38年3月

小学生

2,087名

中学生

1,812名



いちばん世帯数の多い行政区

令和4年時点
菅原本村

57戸



バス停の数

現在 174カ所

九重町コミュニティバス全線/
玖珠観光バス(麻生釣までの
区間)/亀ノ井バス(熊の墓から
牧ノ戸間)



いちばん 高いところにある建物

牧ノ戸峠レストハウス

標高 1,329m

行政区:筋湯





い道」

畜産
9年目

森 宗美 もりむねみ Profile

年齢:44歳(昭和53年9月28日生)

休日の過ごし方:子どもの習い事の観戦

My daily
time schedule

5:00 起床

5:30
餌やり(子牛にはミルクも)

9:00
親牛を運動場へ連れていく・
午後の餌やりの準備

12:00
農作業(米、牧草)

15:00
餌やり、掃除、
運動場から連れて帰る

18:00
子牛にミルクと餌やり

21:00 就寝

親から子へ。未来への想い。

大分市IT系の会社でサラリーマンをしていた森さんは、2人目の子どもが生まれたときに九重に戻ってきた。そんな森さんはエネルギー感あふれる見た目、牛を見つめる瞳には我が子を見守るような優しさを感じられる。

森さんの畜舎はとても広い敷地内に点在しており、気品漂う馬や崖つづちを余裕綽々の表情で渡る山羊も、のびのびと過ごしている。曾祖父の代から45年続いた畜産は母牛2頭から始まり、現在は親牛30頭、子牛20頭すべて血がつながっており、親戚になるという。

これからの目標は現在の牛の頭数を維持しつつ、いずれは息子に継いでもらいたいと語る森さん。その表情からは、父の姿を見て育ってきた森さんが今度は自分の背中を見せる番だと言っているような気がした。

memo

小さい頃から餌やり、掃除など牛のお世話をしていたので、いずれは九重に戻って継ごうと思っていた。奥様から「実家に戻って継いだら?」と言われた。



Q大変なことは? 暑い日も寒い日も、台風の日でも気候に関係なく働かなければならないところです。

Qやりがいとは? 子牛が無事に産まれた時は嬉しいです。分娩は人の手を加えず自然に任せる!のがモットーです。



畜産
3年目

父・祖父・親戚で
やっていますが
メインは私です。

Profile 城戸 優誠 きど ゆうせい
 年齢:23歳(平成11年4月3日生)
 休日の過ごし方:バイクや、車でドライブ

「牛飼

My daily time schedule

- 7:10 起床
- 8:00 牛の体調チェック、掃除、餌やり、牧草の刈り取り、畑(トマト)の手伝い
- 12:00 畑の手伝い
- 17:00 餌やり、掃除、人工授精等
↓
データ集計等
↓
- 24:00 就寝

祖父母の願いを継ぐ。
若き牛飼い。

高校生の時に祖父から聞いた『牛をやめて野菜だけを育てようかな』という一言が農業大学に行くきっかけになった。大学では様々な資格を取得。人工授精も自分のできるようになり、発情時期を知るためのシールを使って人工授精のタイミングを逃しにくくなったという。

最近建てたというメタリックな牛舎で話すその姿は、まさに今時!の牛飼いさん。それとは対照的な祖父の時代に建てたという歴史が詰まった牛舎でも牛を育てて3年目。祖父の時代にはなかったタブレットを使い、市場データの分析や牛の管理をしているという。

孫の働きぶりに感謝していると祖母からは感動の涙が込み上げたが、これは城戸さんが家業を継ぎたいと今まで努力された何よりの証拠。畜産だけでなく色々なコミュニティに参加し、輪を広げていきたいと語る若き牛飼いの姿があった。

memo

取得した資格

- ・人工授精
- ・ガス溶接
- ・牛の爪の削蹄(さくてい)
- ・牽引
- ・アーク溶接
- ・大型特殊免許



Q大変なことは?

牧草の刈り取りと人工授精が大変です。

Qやりがいは?

人工授精が上手くいった時や、自分の育てた子牛が高値で売れた時は嬉しいです。



くじゅう

九重の 自然を 守る会 のこと

九重の自然が保たれているその背景には、「九重の自然を守る会」の存在があります。さまざまな活動の内容、活動への想いを取材しました。

※ ここでの九重（くじゅう）は九重連山およびその周辺エリアのことを指します。

「九重くじゅうの自然を守る会」とはどのような団体ですか？

自然保護のボランティア団体ではあるが、ボランティアと言ってしまうと仰々しい感じがしてしまいますね。私たちはみんな九重が好きだという思いが根本にあり、その美しい景色や豊かな自然をいろんな人たちと共有したくて活動を続けています。また、九重を守り残していくことにつながればという思いから、楽しく、無理なく、自然体での活動をしており、会が発足して61周年となります。必要だからするという訳ではなく、自分たちの庭を手入れするような感覚で当然のことをしているような感じですね。

具体的にどのような活動をしていますか？

「動植物愛護活動」、「遭難対策活動」、「環境整備活動」、「教育活動」を事業として行っています。「動植物愛護活動」では、樹名板の設置、巣箱の設置補修、自然観察路の整備、外来種の駆除（オオハングソウ・ヒメジョオン）、野焼き。「遭難対策活動」では、指導標の設置、一人二石運動、登山道の補修。「環境整備活動」では、清掃登山、木道の補修。「教育活動」では、自然観察会、九重町の児童・生徒に向けた自然教育支援などが具体的な活動としてあります。



九重の自然を守る会



理事長：高橋 裕二郎



事務局長：小山 正記



理事：西山 薫吉



どのくらいの人に参加していますか？

会員数は、347名です。（内、九重町内の会員は103名）会員は日本全国各地にいたるため、活動ごとにお声がけできる方は限られています。会員だから作業をしなければいけないという決まりはなく、活動の案内には毎回、「無理なく参加できる方はぜひ、お力を貸してください」と、書き添えています。会員みなが九重に対して深い思いがあり、遠く離れた場所からでも九重の自然を大切に思ってくれています。

どんな人が参加していますか？

活動に参加される方は年齢、職業など多種多様な人たちです。先にも紹介しましたが自然を守る会では、大きく4つの事業があり、それぞれ会員自らが好きなこと、興味があること、得意とすることに注力して活動しています。例えば、登山道整備で階段を作成する際に、建設業の関係をしていた方の提案で、タイパックアンカー工法という手法を採用し、より強固な階段を作成することが出来ました。様々な方々がいるからこそ、多様な活動が出来ていると思っています。

会を立ち上げた方は誰ですか？
また立ち上げの経緯を教えてください。

九重の自然を守る会を語るうえで欠かせない人物が、初代理事長の赤峰武氏です。赤峰氏は、かつて九重への来遊者が増え始めたころ、地元の人



赤峰 武

たちがあまりにも地元のことを知らなかった現状に、「このままではいけない」と、昭和31年に、当時の飯田公民館主事だった嶋田氏と『飯田高原ガイドクラブ』を作り、会員10人で九重の地理、博物、歴史、民俗などを学習し、無料の登山ガイドなどを行いました。そののち、さらに来遊者の増加から、山が荒らされ、ゴミが目立つようになり、自然保護運動の必要性を感じ、昭和36年に『飯田高原ガイドクラブ』を基に、飯田高原駐在の沢田厚生省技官、青木農林技官、貞清巡査、嶋田氏、清水氏、そして赤峰氏が発起し、「九重の自然を守る会」を作りました。

創立61周年と、活動が長く続く秘訣は？

「無理すんなよー、ボチボチやれよー」初代理事長の赤峰氏がよく口にしていた言葉です。自然に対しての活動は結果がすぐ出るわけではありません。急ぐことをせず、背伸びをせず、自分たちが出来る事を自分たち



教 教育活動

■モニタリングサイト1000里地調査(3月～11月の第3日曜日)

里山の変化を早期に把握し、保全のために役立てることを目指した全国で行われている環境省のプロジェクトです。

略して「モニ1000」

11月、12月、3月)

[登山道整備]

実は、
外来植物！



← 令和2年9月に、7月豪雨で被害を受けた登山道を整備する様子。

雨で登山道が崩れないようにタイバックアンカー工法で、水切り板を設置。



[坊ガツル湿原希少植物保護活動]

ヒメジョオンの駆除活動

遭 [登山道整備]

7月

8月

9月

10月

11月

12月

- ・石積み積み替え
- ・赤池湿地の上方の石敷き

赤池湿地の木道とその先のぬかるみに石敷き

レ・炊事場・避難小屋



ぬかるんだり溝になっている箇所に、一人が一つの石を運んで並べる保全運動。

動

[輪地切り][輪地焼き] 坊ガツル

野焼きの際の、延焼を防止するための防火帯をつくる作業。

輪地切りから2～3週間後、輪地切りで刈った草を集め、焼き払い防火帯部分に新芽が出ないようにするための作業。

環

[清掃登山]
[やまなみハイウェイ美化運動]

のペースで続けていくことが大切だと初代理事長は私たちに伝えてくれていたのでしょう。その言葉が大事にしながら、活動に取り組めてきたのが今日までの九重の自然を守る会に繋がっていると思います。また、自分たちで楽しみながら、ワクワクしながら活動が出来ていることも一つ大きな理由でしょうね。暑い盛りの作業でも、みんな笑顔なんです。そのほか、登山道での作業をしていると、登山者から「ありがとう」と感謝されることもあります。そういった言葉が私たちに充実感・満足感を与えてくれ、次は何をしようという気持ちになります。

最後に、読者へメッセージをお願いします。

これからも九重のファンが増えてくれればと思っています。九州の登山愛好者の間では「山登りは九重にはじまり、九重におわる」という言葉があるようです。小さい頃や若い頃に登山をした楽しい思い出、年を取ってからまた何度でも来なくなる美しい景色、九重の魅力はいつになっても訪れた方の心に残るのでしょうか。自然に対して、すべてを守っていくことは不可能ですが、人が手を加えることで守れる自然があることも事実です。将来、九重が変わらず、人々の大切な場所であり続けられることが、九重の自然を守る会の願いであります。



令和3年の 年間活動

主な
4つの活動

動 動植物愛護活動

遭 遭難対策活動

環 環境整備活動

■ 自然観察会 (毎週日曜日開催)

■ オオハンゴンソウ防除作業 (8月、10月、

動

[やまなみ沿線 ハンノキ周辺の草刈り]
野焼きから群生するハンノキを守るため



害虫を駆除し植物の芽吹きを促すことを目的としている作業です。

動

[野焼き] 坊ガツル

遭

坊ガツル湿原に生息する希少な植物の生態系を守るため、外来植物を駆除する活動です。

動



1月

2月

3月

4月

5月

6月

九州各地の高山に自生している希少な植物「ミヤマクリシマ」の保護活動。



動

[野焼き] 一目山・泉水山麓・タデ原・豊後渡し・大将軍・やまなみ沿線・さとばる

動

[平治岳ミヤマクリシマ植生保護活動]
ミヤマクリシマを被圧している支障木の伐採

遭

[一人一石運動]

遭

[登山道整備]

環

[清掃登山] 坊ガツル・トイ

「九重からこのえへ、しあわせのおすそわけ」をテーマに、

ふだん着姿のたくさんのいいもの・いい人を町の人が発見し、まちの人へ伝えるフリーペーパーです。

*バサレとは、大分の方で「たくさん」という意味です。

発行日：2022年9月16日 発行人：九重町公民館 BASAREプロジェクト 本書への問い合わせ先：九重文化センター 大分県玖珠郡九重町
TEL：0973-76-3888 Mail：bunka@town.kokonoe.lg.jp Facebook ホームページ：https://www.facebook.com/basare.kokonoe/
バサレフリーペーパーは九重町HPからご覧いただけます。本書は、無料で配布しております。
本書の一部または全部を無断で複写、複製することを禁じます。 Printed in Japan © Kokonoe Town.

QRコードから
九重町バサレページに
ジャンプします。

